

女性組合員5名の座談会を開催しました。先輩・同僚のアドバイスをぜひ参考にしてみてください。内容に関する質問やご意見もお待ちしております！

メンバー	経歴	子育て中ですか*	経歴	子育て中ですか*	経歴	子育て中ですか*	経歴		
ハル	入社12年目 駅→車掌→運転士 →非現業（現在）	ユカ	入社12年目 駅→車掌 →非現業（現在）	ユリ	入社9年目 駅→車掌→運転士 →現業・企画（現在）	マイ	入社9年目 駅→車掌（現在）	キヨ	入社9年目 駅→車掌→運転士 （現在）

**ハル** 「今日は司会をしていきます！よろしくお願いします。私たち入社してもう約10年ですね！みなさん仕事はどうですか？」

**ユカ** 「仕事で自分が作り出したものが形になって、それに対して周りの人から『ありがとう』と言われると、やはり達成感ややりがいを感じます！」

**マイ** 「私は、車内でトラブルがあって客室乗務員の方でも収められない事態の時に、自分が車掌として出て行ってその場を収拾できたりすることがあるのですが、そういう時にやりがいを感じますね。」

**一岡** 「おおー！それはすごいね！」 「かっこいい！！」

**ハル** 「JR九州の働き方は、理想の働き方とのギャップはありますか？」

**キヨ** 「乗務員はJR九州独特の働き方だと思いますが、仕事が泊まりになることが多いので、朝早くから夜遅くまで毎日働いているという感じではないですね。大学生の頃想像していたよりも自分の時間を持てています。いい意味でのギャップを感じています。」

**ユカ** 「そうだね。非番がある仕事は、時間を有効に使えるのがいいよね。ただお正月とかお盆とか、世間一般的に家庭の行事があるときに休めないのは辛いよね。」

**マイ** 「ですよね。サービス業なのである程度は仕方のないことだとは思っていますが、そもそもJR九州は他企業に比べて年間休日が少ないと思うんです。就職活動をしている時から感じていました。上場企業であれば、もう少し休日の日数が多くてもいいのではないかと思います。」

**キヨ** 「あと連続して休日が取れる意味での「リフレッシュ休暇」が欲しい！」

**一岡** 「欲しい！！」

**ハル** 「5連休のような連続した休んで会社に燃え尽きてもらえないと、なかなか取れないもんね…。」

**ハル** 「働いていて、困っていることや不便なことはありますか？」

**マイ** 「生理休暇など、制度はあっても利用する人があまり多くないので、本当に取りたい人が取りづらくなっているんじゃないかと心配です。」

**ハル** 「生理休暇だけでなく、皆が制度を利用しやすいような環境を各職場でつくっていかないといけないよね。」

**キヨ** 「子どもがいない時は、会社の制度に不便は感じていなかったけど、育児休暇から復帰すると色々不便を感じそうです。子どものことで乗務が出来なくなった時も、代わりに乗ってくれる人を探すので迷惑を掛けるのではと心配してしまいます。でも子どもには私しかないときもあるし…」

**キヨ** 「あと、もう1個いいですか！？子どもが生まれた後のステップアップについてです。私は会社で仕事も頑張っていきたいと思っているけど、子育てをしている女性は3ヶ月間も研修センターでリーダー研修に入るのは現実的に無理だと思うんです。ステップアップしたい気持ちはあるのに、リーダー研修に入れない。こんな社員はどうステップアップしたらいいのか、方法が分からない。」

**一岡** 「なるほど。確かにそうだね。子どもが生まれてからリーダーになった女性社員はいないよね。」

**マイ** 「同じような悩みを、パートナー社員から社員登用試験を受けて社員になった人も持っているみたいです。」

**ハル** 「これから子どもを持つ女性社員の人数も増えていくし、考えないといけない重要な課題だね。JR西日本では、保険の中堅の女性社員から『歳をとると体力的に重労働の運搬がきつい』という声が出ているみたい。体力的な問題も出てくるかもしれないね。色々課題はあるよね。」

**一岡** 「確かに、体力的なことはまだ分からないけど心配…」

**ハル** 「私たちは全員乗務員を経験していますが、女性社員が泊まり勤務を続けていくにあたって、どんなルールがあればいいと思いますか？」

**マイ** 「子どもが生まれたあと、乗務員を続けることが環境的に難しい人には、他の職に異動できる選択肢が必要だと思います。適宜対応などでは現実的に難しいです。ルールとしてしっかりやってもらいたいです。」

**キヨ** 「そうだね！みんな実家が近いわけじゃない。周りに子どもを見てくれる人がいない人だって多いよね。」

**ユカ** 「もし助役になっても家に小さな子どもがいる人は泊まり勤務は難しいと思う。いくら小学生になったとしても子どもだけを家に残すことは難しいよ。旦那さんが泊まり勤務の仕事の人だっているしね。」

**ハル** 「環境的に泊まり勤務が出来る人や続けたい人もいるから、子育てをしている人は泊まり勤務を無くすってわけじゃないんだよね。選択できる制度が理想だね。」

**ハル** 「JR九州で働く男性に伝えたいことはありますか？」

**マイ** 「男性ももっと育児休暇をとっていいと思う。少ないですけどね。」

**一岡** 「うんうん！そう思う！」

**ハル** 「JR九州で働いている女性は男性と全く同じ仕事をしていても頑張っていると思います。男女平等とはいえ身体の構造が違うので体力に違いがあることは分かっていますよね。」

**マイ** 「体力が違うのに同じ仕事をしているというのは、女性のほうが身体に負担を感じているという考え方もできます。平等というなら女性は手当を貰わないといけないくらいですよ～！（笑）」

**ハル** 「それでは次に、後輩に伝えたいことはありますか？」

**ユリ** 「もし結婚して実家の近くに住めるのなら、そうすることにしたいとは思わないと思う！子どもが生まれても仕事を続けたいならなおさらかな。」

**ユカ** 「私も今親と一緒に住んでいます。仕事を続けたいと思うなら、自分で出来る限り環境づくりの努力をすることも大切だね。」

**マイ** 「あと、キャリアビジョンを早い段階から考えておくことが重要！」

**キヨ** 「さっきも話したけど、リー研などの試験を受けてステップアップすることも考えながら、将来のビジョンを考えておくことが絶対に大事。」

**ハル** 「もし結婚したらどこに住むのか、誰と住むのか、仕事は続けるのか、もし子どもが出来たら育児はどのくらいとるのか、復帰したらどのような働き方をしたいか…こういったことを結婚する前から考えながら試験を受けたりしていかないといけないね。」

**ハル** 「最後に仕事とプライベートを両立させるコツを教えてください！」

**キヨ** 「モチベーションを保つためには目標を持つことが大事。子どもがいるとモチベーションの1つにはなるね。」

**ユリ** 「子どもを見たら癒されるし頑張れます。子どもが生まれても努力すれば仕事との両立は可能だと思います。」

**ユリ** 「あとはスケジュール管理！仕事とプライベートを両立させるなら、だらだら仕事はできない。大変だけどこの時間までに帰ると決めたら、その時間までに仕事を終わらせる！仕事のスケジュール管理とプライベートのスケジュール管理をしっかりすることです。」

**ハル** 「仕事とプライベートを充実させるためには制度の改善も必要ですが、個人の努力も必要ということですね！」

**マイ** 「結婚してない人にとっては、JR九州の制度は世間と比べて整っている方だとは思いますが。」

**ユリ** 「うん！今は随分良くなった。私たちが乗務員になったばかりのころと比べても働く環境が改善されたよね！声を出して少しずつ良くなったもんね。」

**ハル** 「今後も制度や職場環境などみなさんの声を聞いて改善に繋げて生きていきたいと思います。また色々かせてください。今日はどうもありがとうございました！」

**まとめ 人生設計は大切！**

仕事とプライベートを両立させるためには、若い頃から自分の人生設計を立てておくことが大切。仕事でキャリアを積み、結婚したい、家を建てたいなどの夢を叶えるためにも、自分の人生を計画的に考えていきましょう。